



学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

平成 30 年 6 月 29 日 発行 No. 1 2 文責 塩川小学校長 佐藤 寅記



子ども達の安心・安全を確保します。

不審者による事件や水の事故など、子ども達の安心・安全を脅かす事案が相次いでいます。

本校は、不審者の声かけや校内侵入などに対応するマニュアルを作成し、万が一の事態に対処できるようにしています。また、訓練を通して、子ども達が危険を予知したり対応したりできる能力を身に付けています。しかし、それだけでは万全の対策といえません。

子ども達の安心・安全のために、関係団体、保護者・地域のみな様との連携・協働を通して万全なものにしていきたいと思ひます。



「水が怖い」と、思わせてはいけません。担任が水に入り、手を取り、励まして水遊びの楽しさを実感させています。

水の事故が起きないように！



喜多方地方広域市町村圏喜多方消防本部から講師を招聘し、心肺蘇生法とAED、エピペンの使用法について研修しました。

水の事故等万が一に備えて、今回は教職員が研修しました。3つの研修では、実際場面を想定し、ダミー人形やAEDの練習機を使ってその実際に体験しました。

7月10日の授業参観、全体会、懇談会終了後には、保護者の皆さんを対象に研修します。特に、プール監視にあたっている地区委員さんは、是非とも参加していただき、万が一に対応できるようお願いします。

不審者による事故が起きないように！！



ブザーをすぐに鳴らせるように、付ける場所を工夫する



喜多方警察署生活安全課の岩澤智美様と、塩川駐在所の井上大輔様を講師に、防犯教室を実施しました。学んだことは、大きく3点です。

- ① 「イカのおすし」を実行しましょう。
- ② 防犯ブザーは、命を守ってくれる「お守り」です。
- ③ 「心の棒」を意識して対応しましょう。

自分と不審者との距離を大切に。変だと思ったら、3～5mの距離をとり、腕などを捕まれないようにすることが大切です。

これらの学びを活かし、自分の命を自分で守れるようになってほしいと思ひます。

※ 防犯ブザーを付けていること、また、防犯ブザーを鳴らすことで、自分の命を守ることができます。

本校の所持率は、62%です。所持率が低いのは上学年で、47%でした。子どもの命を守るために、防犯ブザーを身に付けさせてください。

吉本祐二交通指導専門員 (中)と交通安全協会塩川支部部分会長の尾崎幸治様(右)

交通指導専門員の深谷様は、新聞販売所付近の交差点で、子ども達の横断を見守っていました。7月3日からは、吉本祐二交通指導専門員に代わります。長い間、子ども達を見守っていただいた深谷様に感謝申し上げます。

「あっ、そうだ！」と、2年生のMさんが慌てて教室に戻って行きました。1分後には、笑顔で教室を出て、プールに向かって行きました。私はどうしたのかと、後からその教室を見に行くと、机の上には、着替えた衣服がきれいにたたんで置いてありました(左写真)。クラスの決まりを果たしたMさんの笑顔の意味が分かりました。

隣のクラスも見に行くと、Aさんの衣服が行儀よくたたんでありました。

ちょっといい話

